



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 天龍木材株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 7904 URL http://www.tenryu.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大木 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 邦利 (TEL) 053(421)1188  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,547	△4.9	178	△4.5	69	3.6	51	130.0
23年3月期第2四半期	7,936	6.7	186	288.0	66	—	22	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 30百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △2百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第2四半期	5	73	1	48
23年3月期第2四半期	2	49	0	39

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,352	—	416	—	3.1	—
23年3月期	13,276	—	388	—	2.9	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 416百万円 23年3月期 388百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	—	—	0 00	0 00	0 00
24年3月期	—	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	16,689	2.1	518	5.9	269	7.2	255	292.3	28	53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期2Q	9,111,190株	23年3月期	9,111,190株
24年3月期2Q	196,937株	23年3月期	174,564株
24年3月期2Q	8,934,350株	23年3月期2Q	8,947,182株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの復旧等により持ち直しの傾向にありますが、電力供給の問題や欧州債務問題とその影響による円高の進行等もあり、景気の先行き不透明感は払拭されない状況にあります。

住宅関連業界におきましては、住宅版エコポイント制度などの住宅取得促進策の効果から新設住宅着工戸数は43万2千戸（前年同四半期比6.1%増加）となり、マンションを中心に緩やかな回復傾向にあるものの、依然として低い水準で推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループは、「3ヶ年経営計画～チャレンジ450～」の二年目として更なる収益性並びに財務体質の改善のための諸施策に取り組むとともに、東日本大震災により被災した当社石巻支店の復旧にも取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、7,547,093千円（前年同四半期比4.9%減少）となりました。損益面では、営業利益178,280千円（前年同四半期比4.5%減少）、経常利益69,127千円（前年同四半期比3.6%増加）、四半期純利益51,223千円（前年同四半期比130.0%増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ・ 木材事業

木材事業につきましては、震災による石巻支店の本格的な営業活動が本年8月になったこと等から、売上高が前年同四半期に比べ減少しました。この結果、売上高は、5,835,262千円（前年同四半期比4.2%減少）、セグメント利益（営業利益）は、191,793千円（前年同四半期比5.2%減少）となりました。

## ・ 建材事業

建材事業につきましては、主要顧客である中小工務店が震災の影響で建築資材（合板・断熱材等）の手当難による工事の遅れのため、羽目板等の商売品の売上が減少したこと等から、売上高が前年同四半期に比べ減少しました。また、生産面では、中国でのOEM生産品の投入により工場の生産性が改善されました。この結果、売上高は、1,176,038千円（前年同四半期比10.1%減少）、セグメント損失（営業損失）は、20,644千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）43,632千円）となりました。

## ・ その他

プレカット事業につきましては、地域密着の営業活動により受注を確保することが出来ました。また、不動産賃貸事業は、計画どおりの収入・収益をあげることが出来ましたが、テナントビル（天龍東京ビル）の賃貸が本年8月に終了しました。この結果、売上高は、535,793千円（前年同四半期比0.1%増加）、セグメント利益（営業利益）は、7,131千円（前年同四半期比74.5%減少）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産については、前連結会計年度末に比べ76,501千円増加し13,352,778千円となりました。この主な要因は、たな卸資産が424,960千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が216,890千円及び前渡金が177,540千円減少したこと等によるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ48,001千円増加し12,936,165千円となりました。この主な要因は、短期及び長期借入金が87,810千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が75,466千円減少したことと有形固定資産の売却に伴う手付金50,000千円があったこと等によるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ28,499千円増加し416,612千円となりました。この主な要因は、四半期純利益51,223千円を計上したこと等によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ89,998千円減少し276,439千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は178,821千円（前年同四半期は366,754千円の獲得）となりました。この主な要因は、たな卸資産が429,819千円及び仕入債務が107,613千円増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は26,081千円（前年同四半期は161,577千円の獲得）となりました。この主な要因は、有形固定資産（土地及び建物）の売却による収入52,237千円と取得による支出20,698千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、調達した資金は68,979千円（前年同四半期は584,635千円の使用）となりました。この主な要因は、短期及び長期借入金87,810千円（純額）増加したこと等によるものであります。

### （3）連結業績予想に関する定性的情報

今後につきましては、震災からの復興の動きが本格化し、景気も緩やかながら持ち直していくと予想されますが、海外経済の動向や円高による輸出の伸び悩み等も懸念され、景気の先行き不透明感は依然として残っております。また、新設住宅着工戸数は、復興需要による着工戸数の増加は当期の後半以降と予想され、当面はほぼ前期並みに推移するものと考えます。

当社としては、木材事業においては石巻支店製材工場の早期復興を図り、建材事業においては本年10月に仙台営業所を開設し、震災復興に貢献するとともに販路の拡大を図っていきます。

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、毎期の利益計画の着実な実行を前提に、主力取引銀行からの支援を受けており、当該計画の達成如何では、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、「3ヶ年経営計画～チャレンジ450～」の諸施策を実行し、利益計画の達成を目指して取り組んでおります。よって、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと考えております。

4. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	499,253	453,745
受取手形及び売掛金	4,862,898	4,646,007
商品及び製品	1,887,205	2,280,381
仕掛品	27,188	28,752
原材料及び貯蔵品	241,620	271,840
前渡金	236,345	58,804
その他	171,216	183,139
貸倒引当金	△510,608	△361,992
流動資産合計	7,415,119	7,560,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	672,678	662,506
機械装置及び運搬具(純額)	52,717	71,690
土地	3,253,477	3,253,477
山林	426,671	427,642
リース資産(純額)	205,360	193,673
建設仮勘定	24,957	—
その他(純額)	2,517	3,309
有形固定資産合計	4,638,379	4,612,299
無形固定資産		
その他	16,186	22,165
無形固定資産合計	16,186	22,165
投資その他の資産		
投資有価証券	356,851	350,827
長期貸付金	136,430	116,839
破産更生債権等	1,139,339	1,147,169
その他	428,962	568,389
貸倒引当金	△854,991	△1,025,592
投資その他の資産合計	1,206,591	1,157,633
固定資産合計	5,861,157	5,792,099
資産合計	13,276,277	13,352,778

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,447,353	2,371,887
短期借入金	7,928,639	8,007,729
リース債務	36,528	37,194
未払法人税等	20,934	15,320
繰延税金負債	538	—
賞与引当金	10,033	11,150
災害損失引当金	31,060	22,999
その他	150,092	219,260
流動負債合計	10,625,180	10,685,541
固定負債		
長期借入金	1,821,600	1,830,320
リース債務	176,521	163,651
繰延税金負債	11,819	7,809
退職給付引当金	214,948	231,785
資産除去債務	12,381	12,487
その他	25,714	4,570
固定負債合計	2,262,984	2,250,624
負債合計	12,888,164	12,936,165
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,502,459	1,502,459
資本剰余金	1,000,000	1,000,000
利益剰余金	△2,090,574	△2,039,350
自己株式	△14,120	△15,669
株主資本合計	397,765	447,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,497	9,542
繰延ヘッジ損益	816	△1,186
為替換算調整勘定	△25,966	△39,182
その他の包括利益累計額合計	△9,652	△30,826
純資産合計	388,112	416,612
負債純資産合計	13,276,277	13,352,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	7,936,999	7,547,093
売上原価	7,103,757	6,728,948
売上総利益	833,241	818,145
販売費及び一般管理費	646,629	639,865
営業利益	186,611	178,280
営業外収益		
受取利息	1,430	1,634
受取配当金	10,690	9,987
持分法による投資利益	1,196	8,080
その他	3,291	3,595
営業外収益合計	16,609	23,297
営業外費用		
支払利息	94,982	95,075
為替差損	4,945	4,180
その他	36,574	33,195
営業外費用合計	136,502	132,450
経常利益	66,718	69,127
特別利益		
固定資産売却益	383	—
特別利益合計	383	—
特別損失		
固定資産除売却損	120	22
減損損失	23,538	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,464	—
災害損失	—	8,355
退職給付制度改定損	—	973
特別損失合計	34,123	9,352
税金等調整前四半期純利益	32,979	59,775
法人税、住民税及び事業税	10,712	8,612
法人税等調整額	—	△60
法人税等合計	10,712	8,551
少数株主損益調整前四半期純利益	22,266	51,223
四半期純利益	22,266	51,223



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,266	51,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,972	△5,954
繰延ヘッジ損益	△10,449	△2,002
為替換算調整勘定	△10,763	△13,216
その他の包括利益合計	△25,186	△21,174
四半期包括利益	△2,919	30,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,919	30,048
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	32,979	59,775
減価償却費	49,393	55,641
減損損失	23,538	—
災害損失	—	7,497
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	37,300	21,985
賞与引当金の増減額 (△は減少)	800	1,117
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	15,237	16,837
受取利息及び受取配当金	△12,121	△11,621
支払利息	94,982	95,075
固定資産売却損益 (△は益)	△263	22
持分法による投資損益 (△は益)	△1,196	△8,080
売上債権の増減額 (△は増加)	△130,303	24,009
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△187,353	△429,819
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△685	△9,279
仕入債務の増減額 (△は減少)	534,202	107,613
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,464	—
その他	△15,141	△6,139
小計	451,832	△75,365
利息及び配当金の受取額	19,584	20,540
利息の支払額	△97,634	△96,227
法人税等の支払額	△7,028	△11,352
災害損失の支払額	—	△16,416
営業活動によるキャッシュ・フロー	366,754	△178,821
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△157,166	△148,600
定期預金の払戻による収入	157,048	147,110
有形固定資産の取得による支出	△24,411	△20,698
有形固定資産の売却による収入	162,453	52,237
無形固定資産の取得による支出	—	△4,950
貸付けによる支出	△29,100	△57,200
貸付金の回収による収入	27,282	61,374
保険積立金の解約による収入	23,742	—
その他	1,728	△3,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	161,577	26,081

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△402,000	88,250
長期借入れによる収入	33,000	90,000
長期借入金の返済による支出	△198,550	△90,440
リース債務の返済による支出	△16,746	△18,730
自己株式の取得による支出	△339	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	△584,635	68,979
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,063	△6,238
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△70,366	△89,998
現金及び現金同等物の期首残高	368,054	366,437
現金及び現金同等物の四半期末残高	297,688	276,439

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	木材事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,094,127	1,307,868	7,401,996	535,002	7,936,999	—	7,936,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	6,295	6,295	△6,295	—
計	6,094,127	1,307,868	7,401,996	541,298	7,943,295	△6,295	7,936,999
セグメント利益又は損失(△)	202,246	△43,632	158,614	27,996	186,611	—	186,611

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プレカット事業及び不動産賃貸等事業を含んでおります。

2 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	木材事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,835,262	1,176,038	7,011,300	535,793	7,547,093	—	7,547,093
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	834	834	△834	—
計	5,835,262	1,176,038	7,011,300	536,628	7,547,928	△834	7,547,093
セグメント利益又は損失(△)	191,793	△20,644	171,149	7,131	178,280	—	178,280

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プレカット事業及び不動産賃貸等事業を含んでおります。

2 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(7) 重要な後発事象

固定資産の譲渡について

当社は、平成23年9月28日開催の取締役会決議に基づき、平成23年10月17日付で次のとおり固定資産の譲渡を行っております。

1 譲渡の理由

財務体質の強化を図るため

2 譲渡する相手会社の名称

お多福グループ株式会社

3 譲渡資産の種類、譲渡前の用途

(1) 譲渡資産の種類

土地 525㎡ 東京都江東区木場五丁目15番62

建物 1,664㎡ 東京都江東区木場五丁目15番62

(2) 譲渡前の用途

テナントビル(天龍東京ビル)

4 譲渡の時期

平成23年10月17日

5 譲渡価額

486,000千円